



萩市
HAGI

議会だより

2008. 4.15 No.8

編集/議会だより編集委員会 発行/萩市議会
〒758-8555 萩市江向510 TEL 0838-25-3131



大網声(越ヶ浜)

3月定例会

平成20年度一般会計・特別会計予算 2~5

一般質問 6~13

写真でみる委員会活動 20・21

P



4月16日~6月29日 萩・夏みかん物語 萩博物館

児童館 陶芸の村公園

一般会計当初予算審査概要

一般会計当初予算は、289億4千万円で、前年度比11億500万円減額、3・7%の減です。合併後4年連続のマインス予算となっています。

合併特例債で5億の基金積立て

市長は、減額の理由を大型事業が終了したことや財政健全化対策を挙げました。そして、次年度以降に予定されている大型プロジェクトの芽だし時期の予算だと説明しています。

最大の歳出予算は、合併特例債を活用した5億円の基金造成

陶芸の村公園

陶芸の村公園整備事業は、市長が縮小を検討していると言う事業ですが、3500万円の予算で、交流広場と調整池の整備測量設計が行われます。

本事業の目的及び必要性、近隣の土地取得の理由・用途について、あるいは取得の手続き等について質疑が交わされました。

【問】縮小を検討されるはずではなかったのですか。

【答】国の補助事業として事業費を縮小して事業を継続し、今年度全体的な見直しを図る中で検討し、事業内容を詰めています。



整備中の陶芸の村公園

中央公園整備は9660万円で公園灯30基、植栽、管理棟の工事と用地購入をします。

今回大きな議論になったのは、児童館建設事業と陶芸の村公園整備事業、まあるバス運営事業、農業振興でした。

農業振興

農業の後継者について意見が交わされました。

【問】今の状況では集落営農も仕方ありませんが、この先米の値段が下がって本当にやれるの不安がありますか。

【答】1集落だけではなく、数集落まとまっていく仕組みにしていきます。

【問】大きくまとめるだけでは解決できません。米の値を上げることが根本的な解決策じゃないのですか。

【答】生産調整をしなければ値が下がり、将来を考えると集落営農しかありません。

【問】大きくまとめるだけでは解決できません。米の値を上げることが根本的な解決策じゃないのですか。

【答】生産調整をしなければ値が下がり、将来を考えると集落営農しかありません。

【問】大きくまとめるだけでは解決できません。米の値を上げることが根本的な解決策じゃないのですか。

【答】生産調整をしなければ値が下がり、将来を考えると集落営農しかありません。

【問】大きくまとめるだけでは解決できません。米の値を上げることが根本的な解決策じゃないのですか。

【答】生産調整をしなければ値が下がり、将来を考えると集落営農しかありません。

【問】大きくまとめるだけでは解決できません。米の値を上げることが根本的な解決策じゃないのですか。

【答】生産調整をしなければ値が下がり、将来を考えると集落営農しかありません。

【問】大きくまとめるだけでは解決できません。米の値を上げることが根本的な解決策じゃないのですか。

【答】生産調整をしなければ値が下がり、将来を考えると集落営農しかありません。

【問】大きくまとめるだけでは解決できません。米の値を上げることが根本的な解決策じゃないのですか。

歳入では、地方と都市の格差是正のため「地方再生対策費」が地方交付税算定に創設され、萩市は5億円の増収を見込んでいます。

財源不足の基金繰入れは8億7千万円

財源不足による財政調整基金からの繰り入れは8億7900万円です。減債基金を含めた総額は前年度より6億8200万

地方再生対策で地方交付税5億円増

萩地域漁業経営構造改善事業として、3520万円で燃油補給施設の整備を行い、経費節減と安定供給を図ります。

【問】大きくまとめるだけでは解決できません。米の値を上げることが根本的な解決策じゃないのですか。

【答】生産調整をしなければ値が下がり、将来を考えると集落営農しかありません。

【問】大きくまとめるだけでは解決できません。米の値を上げることが根本的な解決策じゃないのですか。

【答】生産調整をしなければ値が下がり、将来を考えると集落営農しかありません。

【問】大きくまとめるだけでは解決できません。米の値を上げることが根本的な解決策じゃないのですか。

【答】生産調整をしなければ値が下がり、将来を考えると集落営農しかありません。

【問】大きくまとめるだけでは解決できません。米の値を上げることが根本的な解決策じゃないのですか。

【答】生産調整をしなければ値が下がり、将来を考えると集落営農しかありません。

【問】大きくまとめるだけでは解決できません。米の値を上げることが根本的な解決策じゃないのですか。

【答】生産調整をしなければ値が下がり、将来を考えると集落営農しかありません。

【問】大きくまとめるだけでは解決できません。米の値を上げることが根本的な解決策じゃないのですか。

【答】生産調整をしなければ値が下がり、将来を考えると集落営農しかありません。

柑きつ試験場 市が運営

県の柑きつ試験場が閉鎖されたことを受け、萩市が柑きつ振興センターとして管理運営します。予算は225万円。新規就農の研修と生産を行い、自立後は農業生産法人を目指すとしています。市長は、公募で嘱託専門員は農林事務所普及員が担当します。

【問】大きくまとめるだけでは解決できません。米の値を上げることが根本的な解決策じゃないのですか。

【答】生産調整をしなければ値が下がり、将来を考えると集落営農しかありません。

【問】大きくまとめるだけでは解決できません。米の値を上げることが根本的な解決策じゃないのですか。

【答】生産調整をしなければ値が下がり、将来を考えると集落営農しかありません。

質疑応答 農業振興

芽だし時期の予算 289億4000万円



萩市立図書館

円減額しています。
市債発行も26億3000万円と前年度より5億1000万円少なくなっています。
合併特例債9億6千万円、過

図書館と児童館は併設して整備される予定です。今年度、図書館3602万円、児童館1002万円の基本設計と実施設計が行われます。図書館は2900㎡、児童館は800㎡で計画し、3か年継続事業です。

【問】児童館は図書館と併設しなければいけないのですか。
【答】現在のわくわく子ども図書館の機能を児童館に持たせることで、児童館・図書館を併設することの相乗効果も期待でき、建設費も抑えることができます。市民からの要望をもとに、中

図書館・児童館

疎債3億8千万円、辺地債1億2000万円、臨時財政対策債（地方交付税と同じ扱い）7億6000万円となっています。



わくわく図書館

中央公園整備検討委員会でも検討され、建物ゾーンに児童館・図書館の配置が盛り込まれた答申がされました。

【問】市民からの児童館建設請願は不採択されました。財政状況をみて検討するとのことでしたが、状況が好転したのですか。
【答】その後、わくわく子ども図書館を設置した経緯をふまえて、その機能の継続に要望が強いことと、今のわくわく子ども図書館の施設が古いことから図書館建て替え時に併せて整備するものです。

まあーるバス

見島診療所改築

商工費の旧萩市内を運行しているまあーるバスの予算は3258万円です。

【問】事業開始時の約束は上限3000万円だったはずですが、なぜ増えたのですか。
【答】燃料が高騰し経費がかさんでいる状況に配慮しました。

【問】企業努力で吸収できないのですか。乗客のいない路線を走るからじゃないのですか。
【答】事業委託していますが、市の事業であり責任があります。時間により利用者の増減はありますが、路線を変えて利用者は増えています。

見島診療所、歯科診療所の老朽化に伴い2か年で改築します。今年度は用地取得や地質調査・構造計算・設備設計を行います。

大島小中学校改築へ

大島小中学校が老朽化し、合築で建設します。今年度は1210万円で地質調査・構造計算・設備設計が行われます。

札場跡の公園整備

商工費で唐樋町にある札場跡の公園整備を9814万円で進めます。総事業費は1億87万円です。505㎡の用地取得と建物補償・測量設計・公園整備が行われます。

観光費では、長門峡駐車場整備を1181万円で実施します。

新清掃工場調査費

衛生費では新清掃工場調査研究事業として250万円組み込まれました。処理方式や場所などを検討します。



札場跡

平成20年度一般会計予算

歳入の状況

(単位：千円・%)

区 分	平成19年度		平成20年度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 減 額	伸 率
市 税	5,851,770	19.5	5,870,504	20.3	18,734	0.3
地 方 譲 与 税	380,000	1.3	375,500	1.3	△4,500	△1.2
地 方 交 付 税	11,800,000	39.3	12,300,000	42.5	500,000	4.2
国・県支出金	4,934,719	16.4	4,499,356	15.5	△435,363	△8.8
繰 入 金	1,576,846	5.3	898,644	3.1	△678,202	△43.0
うち財調減債基金	1,561,250	5.2	879,007	3.0	△682,243	△43.7
うち特定目的基金	11,096	0.0	15,137	0.1	4,041	36.4
うち特会繰入金	4,500	0.0	4,500	0.0	0	0.0
市 債	2,875,200	9.6	2,364,400	8.2	△510,800	△17.8
そ の 他	2,626,465	8.6	2,631,596	9.1	5,131	0.2
合 計	30,045,000	100.0	28,940,000	100.0	△1,105,000	△3.7

歳出の状況

(単位：千円・%)

区 分	平成19年度		平成20年度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 減 額	伸 率
人 件 費	6,360,472	21.2	6,346,440	21.9	△14,032	△0.2
扶 助 費	3,374,752	11.2	3,465,296	12.0	90,544	2.7
公 債 費	5,289,677	17.6	5,257,972	18.2	△31,705	△0.6
物 件 費	3,246,135	10.8	3,219,725	11.1	△26,410	△0.8
投 資 的 経 費	4,881,202	16.2	3,327,812	11.5	△1,553,390	△31.8
うち普通建設事業	4,862,029	16.1	3,314,752	11.5	△1,547,277	△31.8
うち災害復旧事業	19,173	0.1	13,060	0.0	△6,113	△31.9
繰 出 金	4,174,198	13.9	3,427,266	11.8	△746,932	△17.9
そ の 他	2,718,564	9.1	3,895,489	13.5	1,176,925	43.3
合 計	30,045,000	100.0	28,940,000	100.0	△1,105,000	△3.7

反対

この予算では少子高齢化、農林水産業の衰退、低賃金という萩市の状況をどう打開するのかが問われています。しかし、必要な予算まで削られています。行財政改革の一番の影響は教育委員会に現れています。財源ばかりか権限も失い、学校教育だけに限定されました。一方で、陶芸の村公園には3500万円が計上され、隣接地も取得しています。どこに行くのか目的も見えず、市民の要望もほとんど聞かない事業にこれだけの予算がついたことには、市民の理解は得られません。財政が厳しいときだからこそ、市民の暮らしを豊かにすることにこそ、暖かい手を差し伸べるのが行政の最優先の課題です。その点で不十分であり、反対します。

議案第七号

平成二十年度萩市一般会計予算

に対するそれぞれ反対・賛成の討論が行われました。採決の結果賛成多数で可決されました。

賛成

平成二十年度一般会計当初予算は、新市発足以来四年連続で前年度を下回る予算となっています。しかし、生活基盤の整備や地域を結ぶ連絡道の整備、住民福祉の向上に資する予算などには配慮されており、引き続き厳しい財政状況において、限られた財源を真に必要な施策に重点的に配分された結果の予算であると評価します。また、平成二十年度の政策課題への対応として「集落共同体機能維持対策」「新規就業支援等定住対策」「萩まちじゅう博物館構想の推進」をはじめ、子育てへの支援や高齢者等保健福祉の充実などさまざまな課題に対応した予算内容となっています。このように市民生活の向上を目標とした諸施策を積極的に計上された予算の成立に賛成します。

平成20年度特別会計予算

(単位：千円・%)

会 計 名	予 算 額	前年度比増減額	伸 率
住宅新築資金等貸付事業	5,600	0	0.0
土地取得事業	16,500	11,300	217.3
国民健康保険事業（事業勘定）	7,673,000	△243,000	△3.1
国民健康保険事業（直診勘定）	424,700	△24,500	△5.5
後期高齢者医療事業	870,000	870,000	皆増
老人保険事業	847,100	△7,969,700	△90.4
介護保険事業（保険事業勘定）	5,527,500	83,700	1.5
介護保険事業（介護サービス勘定）	125,700	2,200	1.8
簡易水道事業	464,500	89,700	23.9
公共下水道事業	1,609,800	△451,100	△21.9
特定環境保全公共下水道事業	95,500	8,300	9.5
農業集落排水事業	770,400	△56,500	△6.8
漁業集落排水事業	705,300	58,300	9.0
林業集落排水事業	3,100	0	0.0
特定地域生活排水事業	42,700	△17,100	△28.6
個別排水事業	12,200	1,300	11.9
駐車場事業	14,000	△1,700	△10.8
福祉援護資金貸付事業		△2,800	皆減
合 計	19,207,600	△7,641,600	△28.5

○主な増減要因

【土地取得事業】市道生野高坂線及び長門峡環境整備事業用地先行取得事業

【老人保健事業】後期高齢者医療制度移行に伴うもの

【簡易水道事業】公的資金の補償金免除繰上償還に伴う公債費の増

【公共下水道事業】施設建設事業費の減及び前年度の補償金免除繰上償還に伴う公債費の減

【特定環境保全公共下水道事業】施設改修工事による増

【特定地域生活排水事業】施設建設工事費の減

【個別排水事業】施設維持管理経費と公債元金の増

【駐車場事業】市営新堀駐車場の維持管理経費の減

平成20年度企業会計予算

会 計 名	収 入	支 出	収支差（△赤字）
病院事業会計			
収益的	23億4985万5千円	25億1405万2千円	△1億6419万7千円
資本的	1億8619万7千円	2億9433万7千円	△1億 814万0千円
水道事業会計			
収益的	6億9034万3千円	7億4104万6千円	△5070万3千円
資本的	9984万1千円	3億 698万1千円	△2億 714万0千円

一般質問



守永 忠世
(新風会)

林業の現状と 施策について

【問】農山村の過疎化、高齢化の進行で木材価格の低迷等による林業経営の悪化が進み、間伐による手入れの行き届かない森林が増えつつあります。森林の荒廃が進むと、山崩れによる土砂災害の増加や、水不足・水質の悪化などにつながります。

このような現状を踏まえ、今後の新たな森林づくりの対策についてお尋ねします。

【答】森林への取り組みについては、やまぐち森林づくり県民税の公益森林整備事業を活用し、平成十七年度から二十一年度の五年間で225haの森林整備を

予定しています。

また、萩市が創設した民有林造林事業補助金を活用した森林整備を進めます。間伐実績では萩市が県下で一番実績がありませんが、素材生産量は少なく、森林資源は過去最大、これを利用することが大きな取り組みとなります。公共事業への積極的な地元産材の活用を図ります。



枝打ちされた森林

企業団地の遊休地 利用について

【問】佐々並落合地区にある企

業団地の遊休地利用について、現在までどのような取り組みがされているのですか。また、今後どのように計画・実行され、有効利用に向けて取り組まれて行くのかお尋ねします。

【答】ご指摘の土地については、昨年十一月に一般競争入札で公募を行いました。応募者がありませんでした。そのため三月一日付けの市報で、再度三月十日に入札を行う旨の公募を行ったところです。



近江 郁宣
(緑風会)

将来の財政健全化に向けての 取り組みについて

【問】財政健全化には、徹底した節約と同時に新たな財源の確保が不可欠です。職員による庁舎内清掃の推進・まあーるバスへの限度額以上の補助金廃止、児童館建設の一時延期等を行う一方で、近く有料化

される文化財施設の入観料金や、駐車料金については、収入増となるような見直し、工夫が必要と思われるが、市長の見解をお尋ねします。

【答】文化財維持管理費の財源確保のため、平成二十年十月一日より九つの文化財施設で、原則一律百円の観覧料を徴収することになりました。収入増のための観覧料の増額は、関連資料が十分でないことや市民の理解を得る上から、現状では難しいと考えます。また、駐車場料金の増額は、駐車場の設置目的などによっては、制度上困難な場合もあります。萩博物館や中央公園の駐車場など、市が所有し管理するものは有料化を検討しています。



桂 太郎旧宅

地域間を結ぶ 市内交通網の 整備を

【問】事故発生時、交通が途絶し緊急車両も通行できない国道一九一号の大井地域から西側ルートは、迂回路もなく交通の難所です。この解決策として、更には合併による地域間交流(生活道路整備)を推進するため、福井吉田く大井相崎く国道一九一号間の道路新設を優先すべきと考えますが、見解をお尋ねします。

【答】萩以東の国道一九一号は、小畑のR45のカーブや大井橋も狭路で、越波などひとたび交通事故や災害が発生すれば完全に途絶し、迂回路も無い状況にあります。福井吉田く大井相崎間については、現在、山陰自動車道の一部区間として、萩東道路の計画が進められようとしています。今後、さまざまな調査が実施されますが、萩東道路がどのようなルートになるのか、工事用道路がどうなるのかを含めて、意見を統一し要望を行っていきます。



西元 勇
(新 誠 会)

山陰本線の 活用について

【問】昨年世界遺産に登録された大田市の石見銀山と、現在の準備を進めている萩市の両市が世界遺産というブランドに夢を託して、沿線市町村を巻き込んだ広域観光推進のお考えは。また、他県では鉄道を県の交通体系の中で地域振興策の一つと捉えている例が多くあります。県ならびに萩市の考え、さらに本線の活用策をお伺いします。

【答】山陰本線は、住民の利便は勿論のこと、地域間交流・観光振興などの観点から欠くことのできない重要な交通手段と考えています。山口県においては、「やまぐち未来デザイン21」の中で鉄道等の公共交通機関の確保・充実に努めることとしています。大田市の石見銀山遺跡など世界遺産という新しい要素ができていますので、萩・大田間

の直通列車の運行や時間短縮を関係機関に要請し、広域観光の観点から交流ができるよう検討します。



木間花菖蒲園

花を生かした地域の の自慢づくりを

【問】花づくり「歩く・描く・詠む」といった楽しみ方を取り入れた施策が各地で展開されています。

萩市の自慢づくりとして長門峡のシヤクナゲ群生地を開発される考えはありますか。

新コミュニティ組織づくりとして、木間の花菖蒲園を取り入れた施策は、人の交流の活発化につながるものと思料されます。所見をお尋ねします。

【答】長門峡のシヤクナゲ群落

を観光のメインにする考えや、保護しようとする考えはあります。以前、林道が整備された際にイワヒバや多くの植物が盗掘された経緯があり、自生地は開発と保護といった地元の同意を含めた調査検討が必要と考えます。現在、町内会や団体、個人など花を中心としたコミュニティづくりがさまざまに展開されており、今後とも元気を出す新しい地域が生まれてくるよう支援できないか検討していきたいと思えます。



柴田 保 央
(政 和 会)

地域の安全安心対策について

周辺部の各方面団は団員確保に苦慮しています。過疎化高齢化の中、地域防災の要である消防力維持のための対応についてお尋ねします。

【答】消防団員の確保には引き続き努力します。JAなど市内事業所への加入依頼の呼びかけはもちろん、数名の消防団員を雇用されている事業所もあり、消防団活動に協力的な事業者を広く周知する「消防団協力事業所制度」の活用を積極的に進めます。このほか市職員の消防団加入についても制度の運用を引き続き行くとともに、市報において募集PRや出初式を始めとする消防団活動を広報し、市民の皆様の理解を得られるよう努力します。



間伐中の林

萩市における 森林の整備支援について

【問】地球温暖化防止対策として森林の持つ二酸化炭素の吸収力が必要とされています。市として人工林の間伐事業や併せて松くい虫被害林の復旧・荒廃する竹林整備についての支援策はどのようなものですか。また、中山間地域における労働力確保についていかがお考えかお尋ねします。

【答】地球温暖化防止対策の一つに森林整備、間伐を推進する事により、二酸化炭素を削減していくことが打ち出されています。萩市における森林整備に対する支援として、民有林造林事業補助金・やまぐち森林づくり県民税の活用、萩市の公共事業における積極的な地元産材の活用により森林整備を図ります。松くい虫防除については、保全すべき森林を定め、計画的な防除を行っていきます。労働力確保については、しっかり対応していきます。



平田 啓一
(緑風会)

小・中学校の 学習指導要領 改訂について

【答】学習指導要領は、社会情勢の変化に応じておよそ十年に一回改訂されます。今回は改正された教育基本法や学校教育法一部改正などを踏まえ「生きる力」をはぐくむという現行学習指導要領の理念を実現するための改訂です。授業時数の増加は、子どもたちが学習にじっくりと取り組める時間を確保するため

【問】小・中学校の学力の低下が叫ばれている中で、十年ぶりに学習指導要領が改訂されます。今回の改訂では、授業時間が約一割増加し、授業内容も増加します。小学校五・六年生に英語の授業が導入されます。新学習指導要領は、つめ込み教育の再来ではないかと不安の声もありますが、期待するところは何かお尋ねします。

【答】耕作放棄地とは、過去一

【問】農家の高齢化や米価の低迷、生産調整等により、近年水田の耕作放棄地が目立ってきました。萩地域の平地部においても茅や葎が生い茂り、すでに雑木が生えている所があります。耕作を放棄して数年もすると、復田は困難となります。萩市における耕作放棄地の現状と対策は、どのようになっているのかお尋ねします。

【問】学校は、日頃子供達の学習の場として使用されている施設です。災害が発生した時に、学校施設は避難所としての重要な役割を担っています。児童・生徒が安心して学校生活を送るためには学校整備は重要であり、

【問】学校は、児童生徒が一日の大半を過ごす場所として、また災害時の避難施設として、安全性を確保したうえでその機能を果たすことが必要のため、施設の耐震化は重要な課題となっています。そこでこの度、計画的に耐震化を進めるために「萩市立小中学校施設耐震化計画」を策定したところです。急を要する大島小学校・中学校の校舎や避難所に指定されている学校の屋内運動場など、順次耐震化を進めていきます。



ヘリポートでの離着陸の様子

【答】萩市には27か所の臨時ヘリポート予定地があり、主に玉江河川公園・河添河川公園等において運用実績があります。周辺住民からは騒音等による苦情の声も聞かれますが、萩市にとってヘリポートは必要な施設であることから最適地を探し確保に努めます。二十年度からの萩市の離島救急患者の航空搬送は航空自衛隊芦屋救難隊が実施します。これまでより10分から15分の遅れが見込まれますが、要請手続き等の見直しにより時間の短縮に努めます。

【問】萩市は、昭和五十五年に玉江地区の河川敷付近にヘリポートを整備され、離島の緊急救命対策の施設として利用してきました。昨今の地域環境の変化により使用ができなくなっていますが、今後の対策を尋ねます。また、ヘリコプターの発進が国の改革により、小月基地から福岡県芦屋基地からの緊急救命発進となりますが大丈夫ですか。



耕作放棄地

耕作放棄地対策について

【問】農家の高齢化や米価の低迷、生産調整等により、近年水田の耕作放棄地が目立ってきました。萩地域の平地部においても茅や葎が生い茂り、すでに雑木が生えている所があります。耕作を放棄して数年もすると、復田は困難となります。萩市における耕作放棄地の現状と対策は、どのようになっているのかお尋ねします。



世良 眞名夫
(新誠会)

【問】学校は、児童生徒が一日の大半を過ごす場所として、また災害時の避難施設として、安全性を確保したうえでその機能を果たすことが必要のため、施設の耐震化は重要な課題となっています。そこでこの度、計画的に耐震化を進めるために「萩市立小中学校施設耐震化計画」を策定したところです。急を要する大島小学校・中学校の校舎や避難所に指定されている学校の屋内運動場など、順次耐震化を進めていきます。

知識・技能の確実な定着とこれらを活用する力の育成を、いわゆる車の両輪として伸ばしていくことが期待されます。

年以上作付せず、この数年の間に再び耕作する意思のない土地で、萩市内の耕作放棄地は230haに上っています。発生要因は高齢化・労働力不足・農産物価格の低迷・農地の受け手不足と思われまので、今後増加することが懸念されます。防止対策の基本は担い手への利用集積を図ることですが、農業振興地域外ですでに原野化している土地は、森林化・住宅用地等の多面的活用を図ることにより、耕作放棄地防止に努力します。

とりわけ耐震化は喫緊の課題と考えます。安心・安全な学校施設の整備をどのように推進されるのかお尋ねします。

緊急救命対策の ヘリポートの 整備は



大村 赴夫 (新 誠 会)

暫定税率がなくなれば市道の補修はできないのですか

【問】国会では租税特別措置法改正案をめぐって打打発止の議論が交わされています。いわゆる道路特定財源の暫定税率の存廃が焦点です。

萩市には、延長1000kmにおよぶ市道があります。毎年二億円の道路補修整備予算が組まれています。暫定税率がなくなると市道の補修整備はできないのですか。

【答】道路特定財源は、萩三隅道路や萩市にとって重要な財源です。南北および東西を結ぶ小郡萩道路、山陰自動車など道路整備の安定的な財源確保のために必要とされています。萩市においても、暫定税率がなくなると市民に直接係わる、生活幹線道路網の整備や維持管理など、平成二十年度予算の歳入に影響

があるため、約1000kmにおよぶ市道や橋の補修にも支障があるとされます。



開通した三隅・明石道路

藍場川の花ポット・甕や鉢の管理について

【問】二十五年前、藍場川修景事業が熱心に行われました。

擬木花壇や陶製・コンクリート製の甕や鉢が設置され、花菖蒲・水仙・睡蓮などが植えられました。

この甕や鉢が今日無慚な姿を曝しています。

对症療法的に問題を処理せず全体としての修景的指針をもつべきですが、所見を求めます。

【答】藍場川の景観修景事業の一環として、縁台、甕、植栽などが整備されハナシヨウブを植栽しました。約120基の植栽は二十数年たっており、五年前にも植え替えを実施しましたが、水生植物の繁殖やシヨウブに適さない状況もあることから、一部にスイレンを植栽するなど改善に努めています。今後の全体の整備計画を検討し、具体的な方針について地元の皆さんと協議しながら対応を考えていきます。



斉藤 眞治 (市民リベラル・民主党)

福祉行政（社会的弱者にやさしいまちづくり）

【問】(1)さまざまな福祉制度の相談業務や障害者・高齢者等が幅広く活用され、障害者等社会的弱者の「苦」となっている老朽化した萩市総合福祉センターの新設計画は。(2)旧萩市内各総合事務所管内の狭隘な市道のバリアフリー化の計画は。特に市道土原新橋線の萩光塩グラウンド

側からUFOビル前までの歩道整備は。

【答】総合福祉センターは、保健福祉機能を集約し、相談からサービス提供まで同一の場所です。手続きが完了する体制が望ましいと考えており、今後、中長期的な課題として検討します。

土原新橋線については、生活道路にも供し重要な課題として認識していますが、道路構造的な課題を整備しつつ、通行規制なども視野に入れ取り組んでいきます。また、旧萩市内、優先順位をつけて計画的に検討していきます。



土原新橋線

環境行政について（溶融炉焼却施設の早期建設計画）

【問】ゴミの最終処分場をつくらない、新しい処理対策のためには①多様なゴミの一括処理②ゴミの再資源化と再利用の促進③最終処分場の大幅な延命化④環境対策の万全化を理念とした「溶融炉焼却施設」の建設が必要です。多額の建設費と運営経費をとらなうことから、広域化による施設建設のために、長門市との連携での建設計画は。

【答】清掃工場建設には計画の立ち上げから完成まで六年程度を必要とします。一方で萩市の最終処分場も今後約十年で満杯が予測されるため、十八年度からプロジェクトチームによる先進地視察や焼却方式と建設費・維持管理費等の調査研究を行っています。溶融炉の建設とその維持管理には多額の費用が必要のため、隣接市との共同設置を検討し投げかけましたが、最終処分場を設置している等の事情で単独設置で進んでおられるというのが現状です。



諸岡 皓二
(市民リベラル)

血と汗と涙を流して支払った税金の使途のポイントは

【問】野村市政において、市民の税金で造った北の総門・明倫小学校の南の総門・田町の御成り道駐車場・上野の陶芸の村公園事業・四十億円投資の四年制大学の倒産など、経済効果は乏しいと思われます。

【答】多面的な予算措置を行なっています。その例として「集落共同体機能維持対策」「新規就業者支援等定住対策」「萩まちじゅう博物館構想の推進」の三つを別枠として予算措置を行いました。これ以外にも子育て支援・少子化対策の推進・高齢者医療対策の支援・景観維持対策・常備消防の及ばない島しょ部における消防力の充実強化・タウンミーティングで要望の多

かった市管理の道路・河川の草刈等の維持管理対策等があげられます。



御成り道駐車場

【答】一人暮らし高齢者や、二人暮らし世帯の把握、希望されるサービスなどについては、毎年五月に民生委員の協力を得て「高齢者保健福祉実態調査」を実施しています。その結果を踏まえ、地域の在宅介護支援センター相談員が家庭訪問を行うなどの支援に努めています。在宅でのサービスとしては緊急通報装置の設置や老人クラブ会員による見守りなどが行われています。在宅生活が難しい場合は、特別養護施設やグループホームなどの利用をお願いします。

少子高齢化社会を迎え萩市の対応はどうか

度の障害となりますと家庭での介護には限界があります。「安心して暮らせるまち萩」を唱える市としての対応は、

【問】平成十九年五月一日現在65才以上の独居老人の方が二八二五人、75才以上の夫婦二人だけの世帯が七三三です。萩市で死後数日経って発見された事例が数件ありました。また認知症の方が二〇〇〇余人在ります。重



杉山 浩司
(政和会)

国民健康保険について

【問】国民皆保険という社会保険制度がある日本で、保険料滞納者(資格証明書被交付者)が昨年、病院に行くのを我慢した結果、九人亡くなったとマスコミが報じていました。この対策と、たとえ資格証明書交付世帯

であったとしても子どもだけには、保険証を発行することがないかお尋ねします。

【答】資格証明書の交付は被保険者間の公平性を図るとともに保険料滞納者対策として設けられており、交付を行うことが義務付けられています。

本市では、交付するまで、督促、催告、相談通知、警告書、戸別訪問等の機会を設けて、個々の事情を把握しつつ、法令の趣旨に沿って適切に対処しています。特に子ども世帯には、特殊ケースでもあり、資格証明書になったため医療が受けられないということがないよう配慮していきます。



介護保険について

ついて

【問】制度が始まって以来利用者が大幅に増え、保険制度からの支出が膨み、厚労省は二度にわたって単価を引き下げた。そのため事業者の収入が減り、介護職の賃金にシワよせがきています。そのような中、介護職の人材確保、労働環境、さらには在宅介護における環境整備の充実をどのように考えているのかお尋ねします。

【答】福祉・介護のニーズが非常に高度化・複雑化し、ニーズ量が増大する状況において、福祉人材の確保への対応を図るべく、国の福祉人材確保指針が改定されました。その中で、市の役割としては県等と連携し、福祉・介護の意義や重要性の啓発など、地域の特性を踏まえたきめ細かな人材確保の取り組みを進めることが重要です。二十年度の健康福祉計画の見直しにおいて、介護する方、介護される方が安心して暮らせる環境整備に配慮していきます。



尾木 武夫
(新志クラブ)

中山間地域等直接 支払い制度の次期 要請を

【問】我が国で中国地方の日本海側の過疎化は進行し二十五年先には人口が40%減少すると言われています。萩市の中山間地域と農業を守るのは集落営農組織しか考えられません。中山間地域等直接支払い制度も中山間を守る効果は非常に大きいものがあります。あと二年で終わるので第三期の中山間事業を国や県に強く要請されるお考えは。

【答】中山間地域は、耕作条件不利にもかかわらず農業生産に加え自然環境保全や保健休養など多面的機能を有しています。この制度による共同活動により農地や農道・水路などが適切に保全され、耕作放棄地防止活動や集落活動も活発に行われるなど大きな成果を上げています。萩市は広大な中山間地域を有しており重要な農産物を生産し

ています。今後も事業が継続実施されるよう機会とも一体となつて、あらゆる機会を通じて要望していきます。



ふるさと花壇

とを推進されるお考えは。

【答】農地水環境保全向上対策は、経営所得安定対策の一本の柱として導入されました。地域の共同活動により農地や農業用水等の資源や環境の保全向上を図るため、現在43の組織により草刈や農業用水施設の保全・環境美化などの共同活動および環境保全型農業が展開されています。採択申請が十九年度以降も可能になったことから、新たに取り組みを希望される意欲ある団体について取り組みが開始できるよう増額予算を計上し対応していきます。

特定農業団体が 健全に育つよう 行政指導を

【問】世界の穀物相場に異変が起き食料不足や価格の高騰などが続いています。日本の穀物価格は低迷を続けています。萩市の26の特定農業団体も安い農産物価格の中で地域を守りながらの経営は厳しさを増しているところ。十九年度からの国の事業である農地水環境保全向上対策に営農組織が加入するこ



江原 任子
(公明党)

歯科診療所の設置に ついて (大島地域)

【問】丈夫な歯は健康の源、歯の手入れや口の中の細菌が虫歯や歯周病の原因となり、特に歯垢は細菌の温床となります。放置すると抜歯はまぬがれず、唾液の減少により抗菌作用がなくなり病気を引き起します。早期治療

・早期発見による疾病予防のため、通院・治療しやすい環境づくりが急務です。大島地域に歯科診療所の早期設置を！

【答】現在、大島地域の方々からは大島漁港整備終了後の大島診療所の改築についての強い要望があり、第一優先課題として取り組んでいます。

歯科診療所の設置は財政的にも厳しい状況ですが、大島は若い人も多くなつてきており、今後さらに人口が増えていけば対応を考えたいと思います。

妊婦検診の 助成拡大について

【問】妊娠と安心安全な出産に欠くことのできない妊婦検診について、国では妊娠から分娩まで14回が望ましいとされています。現行では公費負担5回まで国から助成されます。

萩市では当初から先進的に取り組まれ現行は6回ですが、助成拡大により持ち出し分が軽減されることから、現在トップの阿武町の8回まで拡大できないかお尋ねします。

【答】萩市は妊婦検診の助成を合併後から6回実施しています。国の5回へ拡大された交付税措置は人口単位や基準財政需要額などの算定によりそのまま増額されるのではなく、これまで6回分への持ち出しが大変でした。今回は第1回目の検診内容を充実し、超音波検査は独自に毎回実施しています。妊婦への支援は回数追加ではなく、各種健康教室や訪問指導、また里帰り出産の対応などきめ細かな仕組みで、今後もできる限りの支援を検討していきます。





井関 稔 (新風会)

ほ場整備と市道の 拡張について

道拡張と、ほ場整備の事業着手の取り組みについてお尋ねします。

【答】当地区のは場は、国営農地再編整備事業においては合意形成に至らず未整備地域になっていますが、国の担い手対策にあわせ整備工事の気運が盛り上がっています。市は限られた財源の中、地域の緊急性により優先順位をつけ予算化している状況です。今後の財政事情を判断しながら計画的に事業推進を図っていきます。瀬尻地区の市道拡張については要望があります

【問】北部土地改良事業の終了後、須瀨地区・須佐地区・瀬尻地区の関係農家よりほ場整備の気運が盛り上がりしました。

【問】営農についても真剣に取り組みが話し合われています。

が、将来のほ場整備事業に併せて実施を検討していきます。



瀬尻地区の市道

道路行政に

ついて

【問】県道津和野田万川線の丸山地区、残り400mを早急に整備し工事完了を県に対して要望されるお考えはありますか。また、ふるさと農道として計画決定された、友信地区の道路を小島地区に接続する取り組みについてお尋ねします。

【答】県道津和野田万川線の丸山地区は、本路線における萩市内唯一の一車線区間で、大型車との離合が困難です。県の財政事情が厳しい中、地域の優先順位など勘案・斟酌し、引き続き県に対して早期整備の要望を行っているいきます。広域農道阿武東地区終点から県道への延長については、平成二十年度から県営事業に着手する予定です。路線については現在未定ですが、今後関係者の意見や整備コストを勘案するなかで路線決定をしていきます。



松尾 義人 (新誠会)

交通量の増加に

対する安全対策

(三見地区)

【問】二月二十三日、一般国道一九一号萩・三隅道路(三隅、明石間)7.1kmが供用開始されました。それによって交通量が増大し、残りの工事のための車輛も増えています。そのような状況の中、子ども達の通学や、

道路を横断して農作業に行かれる高齢者が多い中で、事故に対する不安の声が多く聞かれます。安全対策についての今後の対応は。



交通量の増えた三見地区県道

【答】三見地区における交通安全対策としては、これまでも小中学校における交通安全指導や萩市交通指導員の配置により安全の確保に努めてきました。バイパス開通に伴う一般ドライバー対策としてもスピードの出しすぎ・無謀運転等に対する注意を喚起しています。歩行者対策としては夜間における反射材着用の徹底・道路横断時の確認の徹底等啓発に努め地元の方々と協力して安全対策を進めていきます。

スクールカウンセラーについて

【問】教育の専門家である教員と心の専門家であるスクールカウンセラーの信頼関係が構築され、どのような活動がされているのですか。スクールカウンセラーの継続配置による安心感、保護者が気楽に行けるような環境と情報発信・教育相談体制が確立されているのですか。またスクールカウンセラーの必要性についてお尋ねします。

【答】八人のスクールカウンセラーが、児童生徒や保護者のカウンセリング・校内研修・講演会での教員・保護者への専門的な指導や助言を行っています。相談場所・時間への配慮や、児童生徒・保護者との人間関係づくりを工夫し、相談活動の充実を図っていきます。今後も高い専門性を発揮し「いじめ撲滅宣言」推進のパートナー、あるいは児童生徒への寄り添い方や心を開かせる手法を伝授する教員・保護者の支援者としての活躍を期待しています。



宮内 欣二
(日本共産党)

ガス化溶融炉は温 暖化対策に逆行し ないか

【問】萩市環境基本計画には重点取り組み事項に二酸化炭素の削減があります。ところが市長は新清掃工場の処理方式は溶融炉が最有力と述べています。一般廃棄物処理基本計画を見るとガス化溶融炉は現行方式よりエネルギー消費量は3・7倍、二酸化炭素排出量は1・4倍となっています。他にも問題が多いのに、なぜ最有力なのでしょうか。

【答】ゼロウェイストの理念は素晴らしいと思いますが、そこに至る過程において、出てくるごみは焼却・埋立等適正に処理していかねばなりません。ガス化溶融方式はストーカー方式と比べて高温で焼却するため、その面だけで比較すればエネルギー消費・温室効果ガス排出量は多くなります。廃熱の有効活用・最終処分場を必要としないごみ処理システムの構築・下水道汚泥等を遠くまで運搬して処理せずに済むなどのプラスの面も大きいと考えています。



清掃工場

用・最終処分場を必要としないごみ処理システムの構築・下水道汚泥等を遠くまで運搬して処理せずに済むなどのプラスの面も大きいと考えています。

合意文書破棄問題 なぜ積極的に公開 しなかったのか

【問】情報公開制度の根幹は積極的公開・説明責任です。なぜ萩学園理事長との合意を積極的に公開しなかったのですか。また市長の職名で公印を押したものをなぜ「私的なもの」というのですか。それは公印・公文書取扱規定に反していないのですか。

【答】理事長就任に際して「精神的な支えにする」との相手方の申し出により、文書を作成しました。この文書は公文書ですが、このような文書は今まで作成したことはなく、全く異例であり、通常の公用文書ではないということですので。現在、一月一日の新聞記事に対して、私自身の名譽のため、あるいは、萩市の名譽のために、民事訴訟を提起しています。まもなく司法当局の判断も下されますので詳細説明は避けさせていただきます。

【答】理事長就任に際して「精神的な支えにする」との相手方の申し出により、文書を作成しました。この文書は公文書ですが、このような文書は今まで作成したことはなく、全く異例であり、通常の公用文書ではないということですので。現在、一月一日の新聞記事に対して、私自身の名譽のため、あるいは、萩市の名譽のために、民事訴訟を提起しています。まもなく司法当局の判断も下されますので詳細説明は避けさせていただきます。

週間「フライデー」に対し抗議！

萩市議会は、週刊「フライデー」平成20年3月14日号(80～82ページ)に掲載された「血税5兆円をムダ喰い」した亡国の道路全リストの記事の、費用対効果ワースト1位は「安倍道路」だった、という見出し及び記事の中に出てくる内容について、事実と異なる部分が多く見られ、萩市の現況及び道路の必要性を認識させるため、下記の抗議文を提出しました。

～ 要 旨 ～

萩市の現況

1. 国道191号は、下関～益田間を結ぶ主要幹線道路であり、特に萩市～長門市(三隅間)の鎖峠は、急カーブ・急勾配の連続する劣悪な道で、豪雨による斜面崩落、冬季における積雪、連続雨量150mm以上の降雨による通行止めなど通行規制が度々生じ、迂回路には約1時間を要している。
2. 山口県内における、山陰側と山陽側の陰陽格差は著しく、山陰本線は特急・急行・貨物列車は全て廃止となり、単線で運行している下関～益田間を繋ぐ普通列車の運行回数はわずかであり、直通列車は上下線一日1本である。しかも、益田を越える列車は皆無である。

道路の必要性

1. 萩市にとっては、生活・観光・物流などの諸活動において、道路こそが唯一の交通ネットワークであり、その整備は命運にかかわる重要課題であり、将来の萩市の振興、発展にとっては欠かすことのできない、真に必要な道路である。

このような状況にある地域の都市の現況を把握せずに、全国で発売されている週刊誌においてあたかも必要性がなく、しかも無駄な道路であるといった内容で、今回掲載された記事に対して、強い憤りを覚えるとともに本当に「命の道路」として道路整備を必要としている、萩市民並びに萩市議会の代表として、厳重に抗議する。

平成20年3月18日

萩市議会議長 青木賢次

第二リサイクルセンター エコプラザ萩(工場棟)



第二リサイクルセンター エコプラザ萩(再生工房棟)



平成19年度に完成した おもな公共施設



福祉複合施設 おとずれ(無田ヶ原・老人デイサービスセンター)



上津江浄水場 除マンガン装置

市議会の会議録を
ホームページに
掲載しています

萩市議会では、議会情報を広く市民の皆さんにお知らせするため、定例会および臨時会の会議録を市役所本庁市政情報コーナー、各総合事務所、支所・出張所、市立図書館で公開していますが、4月1日から、合併後の平成17年3月からの会議録をホームページに掲載しています。

単語や発言者で検索できるほか、「市町村合併」「少子・高齢化」などのカテゴリでも検索できるようになっています。

<http://www.gijiroku.net/city.hagi/>

※萩市公式ホームページのトップページのコンテンツ「市議会 会議録検索」からも見ることができます。

《問い合わせ》

議会事務局

(0838)2513365

特別委員会報告

◎行財政改革調査特別委員会

▼最終報告（要旨）

本特別委員会は平成十八年九月に設置され「行財政の確立こそが、萩市の明るい未来を約束する」との観点から、現行のあらゆる施策の見直し等を目的に調査研究を続けてきました。

昨年九月には定例議会において中間報告をしました。

その後、今年一月に「萩市行政改革大綱実施計画」の一部改定がなされました。

市民の参画による地方自治の一層の推進を図るため、市民団体の活動の活発化のための窓口の一本化・タウンミーティングへの若年層の参加呼びかけなどが示されています。また柔軟でスリムな行政運営を図るため、指定制管理による市民サービスの充実・施設の維持管理に対するコストの縮減等民間活力に寄せる期待が示されました。



市民部窓口

さらに分かりやすく透明性の高い行政運営を図るため、ケーブルテレビの二局運用から一本化・情報公開に係る専門職員の活用等が求められました。

今回の改定は各施策の進捗状況を踏まえた計画変更であり、今後においても適宜の改定

が必要と思われま

す。次に、当委員会の調査研究の主要事項として取り上げました「議会改革」についてです。

議会は住民の意見反映の場であると同時に執行機関の監視機能および立法機能を十分發揮しながら地方自治の本旨の実現を目指すものです。

議員定数について、法的観点からあるいは市民の声を勘案すれば定数削減を良とするとの意見一致をみました。

議員報酬については、役務の提供に対する「報酬」ではなく、広範な議員活動にみ合う「歳費」に改めようとの意見があるとともに行財政改革の見地から減額を視野にいられた検討も必要と思われま

す。政務調査費については、議員の政策立案または提案を行うため並びに調査研究活動に資する経費として位置づけられるものであり、多様化する行政課題に対し市民本位の政策立案と行政監視能力の向上をはかる上からその必要性を共通認識しました。

一般質問については、一問一答制の採用を議論するも、現行方式と併用した形を検討すべしとの意見が大勢でした。対面方式の採用や残り時間表示時計の設置もその必要性について意見の一致をみました。

議会のＩＴ化について、議会組織・本会議・委員会活動・会派活動等を情報提供できるホームページの充実を求める議論がありました。

議会だよりについて、市民への公開性・透明性を高める上からも内容の充実が必要不可欠であり、掲載記事・構成手法・配布回数など読者の立場に立った紙面づくりを目指していくことが大切です。

議会の施設のバリアフリー化については、高齢者や身体障害者はもとより傍聴者等への思いやりの観点から照明・音響関係の確保などに意を用いるべきで

す。施設改善は喫緊の課題です。地方自治体を取り巻く情勢は厳しさが増しています。自治体にとりましては自らの体質改善と、将来にわたって安定した財政基盤を構築する必要があります。

萩市行政改革大綱については基本的な方向性と具体的施策について理解するも、実施計画の推移を見極めながら改革の具現化に努めていきます。

議会改革については、一定の方向性を見出しましたが、これからもさまざまな角度から継続的な議論を深める必要があると思

◎明治維新館（仮称）・陶芸の村公園整備調査特別委員会

▼最終報告（要旨）

本委員会は、平成十八年九月に設置され明治維新館（仮称）・陶芸の村公園整備の調査研究をしてきました。

明治維新館（仮称）は、維新史回廊構想推進協議会により、平成十三年度に明治維新館（仮称）基本構想の策定、平成十四年度には基本計画を策定しています。

ところが県は、平成十七年の県議会二月定例会において、財政状況を理由に明治維新館（仮称）建設計画の「当面見送り」を示しました。事業見送りの背景に平成十六年に開館した萩市立博物館の建設や維新館建設候補地の決定などが関係されています。

当委員会としては、維新館建設計画の再開に寄与すべく調査研究に専心しましたが、つまるるところ「事業主体たる山口県への要望活動に尽きる」としたところ

です。しかるに、その観点からの県への調査活動も一旦計画するも、

実効性を伴う効果的な要望活動の時期等に議論があり、断念しました。

本年は明治維新の一四〇年にあたり、維新館建設への気運を維持し、来る一五〇年の記念すべき年までには実現するように、市民あげての積極的な要望活動に期待するところです。

明治維新館（仮称）の建設は萩市の歴史・都市遺産とまちじゅう博物館構想との相乗効果によって、他の世界遺産にも劣らない魅力を萩市にもたらしめます。

当委員会では、明治維新館（仮称）建設事業は、通常の展示機能等に加え世界史の奇跡と評価される明治維新史の調査研究を国内外へ情報発信する稀有な貴重なもので、真に萩市にとって必要な施設であると確認されたところです。

陶芸の村公園整備事業は、萩市の地場産業でもある「萩焼」をテーマにした、レクリエーション・コミュニティの場の提供を目的とした萩市が事業主体の都市公園整備事業です。

都市公園事業として認可を受けた陶芸の村公園整備事業は、事業期間は昭和六十一年から平成二十年度まで、事業費28億3千8百万円、公園面積15・8 haです。

平成十八年十二月現在までの

事業費は約12億2千4百万円を要しています。これまで1・3 haの供用開始をみるのみで、進捗率は約8・2%に留まっています。

平成十九年度からは、市道上野中ノ倉線南側の森林部分1・3 haを遊歩道・東屋・植栽等の整備を行う外、同市道北側の事業拡大した部分の測量・設計に着手しています。

今後の方向性としては、陶芸の村公園整備事業は国庫補助事業であることから休止・中止をすることなく事業期間を延伸し事業規模は萩焼をテーマとした必要最小限の整備に努め、縮小する方向で検討することとしています。

当委員会の討議の中では、市政の厳しい折から事業を中止すべきであるとの否定的意見がありました。また事業推進の強い意見もありました。陶芸の村公園は眼下に城

下町としての市街地が眺望できるかけがえのない地であり市民や観光客が憩える公園として、縮小の方向でも整備を進めるべきなど二分三分した意見が出たところでした。

当委員会の結論とすれば、厳しい財政状況下、陶芸の村公園整備については「最小限の機能を有した整備に留めるべきである」としました。



陶芸の村公園展望広場

◎主要道路整備促進調査特別委員会

▼中間報告（要旨）

本委員会では、昨年九月の中間報告以降二回の委員会を開催しました。

また、国土交通省へ調査に赴き国土交通大臣に直接面会し、萩市の道路状況に関する課題等実情を訴えてきました。

山陰自動車道の整備については、去る二月二十三日に萩三隅道路の三隅・明石間7・1 kmが供用開始されました。これまで国道一九一号の萩・三隅間は、鎖峠において豪雨によるガケ崩れや連続雨量一五〇mmによる交通規制区間があり過去15年間で19回の通行止めがありました。

このたびの整備により、萩・長門間は約6分の時間短縮が図られるとともに、天候に左右されることなく常時通行が可能となり、安全安心の面から多大な効果が見込まれるところです。

萩三隅道路の三見・萩市椿間延長5・7 kmも平成十七年に区間延伸され平成二十三年の山口国体を目途に整備されることとなつていきます。全区間の整備が完了すれば三見・北中山の連続雨量二五〇mmによる交通規制区間もバイパス化され、より安全性・利便性が高まることから1

日も早い供用開始が望まれます。

また昨年十一月十三日に国土交通省から道路整備についての中期的な計画（素案）が示され、山陰自動車道益田・萩間68 kmが完成二車線の計画によりはじめて計画路線として位置づけられ、萩東道路の整備に向け一歩前進をみたところです。

しかしながら、道路特定財源の一般財源化の論議により、道路整備の財源となる道路特定財源制度の延長が不透明な状況となつてきました。

そこで昨年十一月二十八日、当委員会は議長とともに上京し、冬柴国土交通大臣に直接面会して、国道一九一号萩・益田間の実情と、その整備財源となる道路特定財源の暫定税率の維持・延長を申し入れたところです。

大臣からは、道路整備における陰陽格差や萩東道路の整備について前向きな発言がありました。あわせて山口県の山陰側道路整備への集中的な取り組みについて県への働きかけを行うよう助言をいただきました。

萩東道路をはじめとする山陰自動車道および小郡萩道路の早期整備を実現するためには、諸税の暫定税率維持を含め、道路



完成した萩・三隅道路

整備財源が確保されることが前提です。道路特定財源の暫定税率が三月末で廃止されると、萩市では平成二十年度予算ベースで約2億5千万円の財源が失われることとなり、市民生活に密着した生活道路の開設・改良はもとより、恒常的な道路や橋の維持補修、さらには全ての予算において影響を被る（おぼろ）こととなります。

萩市議会では、昨年九月定例会において「市民生活を支える道路整備財源の確保を求める要

望決議」を採択しています。執行部におかれても、道路財源確保に向け一層の働きかけをされるよう要請します。

現在、通常国会で議論されている道路特定財源諸税の暫定税率延長の可否によつては、今後、高規格道路のネットワークも影響が見込まれることから、萩東道路を含む山陰自動車道および小郡萩道路の早期整備については、なお委員会としての調査研究が必要との意見の一致がありました。

◎産廃処分場建設問題調査特別委員会

▼中間報告（要旨）

本特別委員会は、現在、福栄地域において産廃廃棄物最終処分場の建設が民間事業者により計画されていることに対し、「絶対反対」の立場から本建設問題を緊急性の高い重要課題と考えています。

平成十九年九月定例会において設置された特別委員会は、これまでにならぬ調査研究活動を行ってきました。

十月には、地元選出県議会議員を交えての意見交換を行い、十一月には、山口県環境生活部を訪問して産廃最終処分場建設申請手続の調査を行うとともに、事業者より申請のあった場合は不許可とするように強く申し入れました。

また同月、市民団体「萩・福栄 水と命を守る会」の会長をはじめ役員の方々と情報交換を行いました。

十二月には、産廃最終処分場建設予定地が「阿武火山群」に属するため、山口大学理学部の研究者から地質の特徴等について説明を受けました。

平成二十年一月には、熊本県水俣市・宇城市を視察しました。水俣市においては、管理型の

産廃処分場としては国内最大級の建設計画が進行中です。

宇城市においても産廃処分場建設後における業者の倒産事例や新たな産廃処分場問題が進行しています。これら両市の抱える問題を調査研究しました。

萩市においては、現在、民間事業者から産廃最終処分場設置に係る許可申請の手続きについての具体的な動きはなく、顔すら見えていない状況です。

平成十八年六月、東京都内に本社のある民間事業者の関係コンサルタントが萩市役所を訪れ建設計画の概要を示しています。それによると管理型の産廃最終処分場で埋め立て期間二十年間・埋め立て容量一五〇万m³の県下最大規模のもので、

この時点で、民間事業者から山口県に対し要綱に基づき事前協議の申し入れがありましたが、書類不備との理由で事前協議はされていません。民間事業者

においては、今、所定の手続きの準備中と思われま

一方、建設反対運動に取り組んでおられる市民団体は、平成十九年二月に市民一〇〇〇人が結集しての総決起集会を開催され、六月には市民三万四千余人の建設反対署名簿を山口県知事に提出されました。

当特別委員会としては現状、民間事業者の動きがみえない状況ですが、市民団体をはじめ市当局及び関係機関などの連携、調整を十分に保ってまいります。

そして、「適切でない産廃施設は造らせない」をモットーに計画を断念させること、申請の段階で「許可させない」ことを指針として、今後の調査研究に努めていきます。



3月定例会

3月萩市議会定例会は、2月28日～3月18日までの20日間の会期で開催され、平成20年度一般会計予算外、議案54件、議員提出議案4件を可決・同意しました。

携は不可欠であり、今後も地域・家庭等との連携を密に図りながら、教育環境の整備と健全育成に努められたいとの意見がありました。「あなたのふるさと萩応援基金条例」については国県の情勢を踏まえ、時期尚早ではとの意見があり、ご厚志に対する受け皿を早期に整備するとともに「萩市元気なふるさと創出寄附顕彰条例」とも連動させ、積極的なまちづくりの推進に努めて行きたいとの答弁がありました。



教育民生委員会

- 平成19年度萩市国民健康保険事業（事業勘定）特別会計補正予算（第3号）
- 平成19年度萩市介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第3号）
- 平成20年度萩市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
- 平成20年度萩市国民健康保険事業（事業勘定）特別会計予算
- 平成20年度萩市国民健康保険事業（直診勘定）特別会計予算
- 平成20年度萩市後期高齢者医療事業特別会計予算
- 平成20年度萩市老人保健事業特別会計予算
- 平成20年度萩市介護保険事業（保険事業勘定）特別会計予算
- 平成20年度萩市介護保険事業（介護サービス事業勘定）特別会計予算
- 平成20年度萩市病院事業会計予算
- 萩市後期高齢者医療に関する条例
後期高齢者医療制度の実施に伴い、同制度に関する事務のうち、本市において行う事務について規定する
- 萩市児童クラブ条例の一部を改正する条例
山口県立萩養護学校の校名変更に伴い、児童クラブの名称を変更する
- 萩市さんみ苑の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
萩市さんみ苑が障害者自立支援法による指定事業を行う施設に移行するため、所要の改正を行う
- 萩市国民健康保険条例の一部を改正する条例
国民健康保険料の賦課に係る事項等について、所要の改正を行う

総務委員会

- 平成19年度萩市一般会計補正予算（第4号）
- 平成20年度萩市土地取得事業特別会計予算
- 萩市教育委員会の職務権限の特例に関する条例
教育委員会の職務権限に属する事務の一部を市長が管理執行することとする
- 萩市合併特例基金条例
市民の連帯の強化及び地域振興に資することを目的とする基金を設置する
- あなたのふるさと萩応援基金条例
広く全国からの寄附を募り、これらを財源とする基金を設置する
- 萩市組織条例の一部を改正する条例
教育委員会の職務権限に属する事務の一部を市長が管理執行するとともに、柔軟性と機動性を備えた行政運営体制の整備を図るため、所要の改正を行う
- 萩市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
医師がヘリコプターに搭乗して行う救急患者搬送業務に対する特殊勤務手当を支給する
- 萩市特別会計条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
後期高齢者医療制度の実施に伴い、新たに萩市後期高齢者医療事業特別会計を設置する
- 萩市税条例及び萩市都市計画税条例の一部を改正する条例
固定資産税及び都市計画税の第3期分の納期の期限について、他の収納金の納期限との統一を図る
- 萩市手数料条例の一部を改正する条例
萩市屋外広告物等に関する条例の施行及び開発行為の許可に関する事務等に係る山口県からの権限移譲に伴い、所要の改正を行うもの
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
見島本村辺地等に係る公共的施設の総合整備計画の変更について、市議会の議決を求めるもの
- 萩市過疎地域自立促進計画の変更について
平成20年度の新規事業の追加等のため、萩市過疎地域自立促進計画を変更する
- 指定管理者の指定について
指定期間が平成20年3月31日をもって満了することに伴い、引き続き各施設の指定管理者を指定する
- 萩市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定について
萩越ヶ浜郵便局を指定する

審査概要

「地方教育行政の組織および運営に関する法律」の一部改正に伴い、教育部局の事務を首長部局に移管するに当たり教育環境が学校教育に特化できるとは言え、進む少子化の中で、生涯学習や、スポーツ振興との連

建設委員会

- 平成19年度萩市簡易水道事業特別会計補正予算 (第2号)
- 平成19年度萩市公共下水道事業特別会計補正予算 (第2号)
- 平成19年度萩市水道事業会計補正予算 (第2号)
- 平成20年度萩市簡易水道事業特別会計予算
- 平成20年度萩市公共下水道事業特別会計予算
- 平成20年度萩市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算
- 平成20年度萩市農業集落排水事業特別会計予算
- 平成20年度萩市漁業集落排水事業特別会計予算
- 平成20年度萩市林業集落排水事業特別会計予算
- 平成20年度萩市特定地域生活排水事業特別会計予算
- 平成20年度萩市個別排水事業特別会計予算
- 平成20年度萩市水道事業会計予算
- 萩市屋外広告物等に関する条例

屋外広告物法の一部改正に伴い、良好な景観及び風致を維持する等のため景観行政団体である本市が事務処理を行うことができるよう、条例を制定する

○萩市文化財施設の設置及び管理に関する条例

本市が所有又は管理する文化財施設のうち9施設について公の施設として設置し、管理することに伴い、条例を制定する

○萩市水道水源保護条例

水道水源に係る水質の汚濁を防止し、安全で良質な水を確保するため、条例を制定する

○市道路線の廃止について

市道須佐地線等を廃止する

○市道路線の認定について

市道須佐地帆柱線等を認定する

審査概要

萩市屋外広告物等に関する条例については、「市域全域を禁止地域と許可地域のいずれかに分け指定するもので、現在県が行っている規制よりも禁止地域、許可地域の範囲を拡大する。既に設置してある広告物は、許可申請をすることで当分の間掲示できる」などの説明が執行部からありました。

委員からは、建物の窓ガラス等の内側から外部に見せるために掲示された広告物等も規制の対象となり、多くの市民にかかわることから、さまざまな機会をとらえ市民への周知を充分行うよう要請しました。



○萩市介護保険条例等の一部を改正する条例

現在実施している介護保険料の激変緩和措置を平成20年度においても継続して実施すること等に伴い、所要の改正を行う

○萩市体育施設の設置及び管理に関する条例及び萩市むつみB & G海洋センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

萩市体育施設等の管理及び執行を市長が行うこと等に伴い、所要の改正を行う

○萩市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

結核病床15床を廃止する



審査概要

本年4月より、新たな医療制度としてスタートする後期高齢者医療制度をはじめ、国民健康保険、介護保険、病院・診療所などの市民生活に直接関わる条例、予算等が多数提案され、保険料の特別徴収や国保の保険料率の統一、これまでの住民検診に変わる特定検診・特定保健指導の新規実施、保険料の滞納による資格証明書発行の実態等、保険料負担と給付内容について審査しました。

また医療関係では、経営健全化に向け公立病院改革ガイドラインが示され、公立病院の役割、地域事情、病床数、経営環境、医師不足、診療報酬改定など、地域医療が抱えている諸課題について、質疑を交わしました。

経済委員会

○平成20年度萩市駐車場事業特別会計予算

審査概要

駐車場特別会計における各施設のうち、歳入ウエイトの多くを占める「新堀駐車場」の今後の運営方針並びに施設整備のあり方についての質疑では、周辺地における駐車場の新設などの理由から、運営は厳しい状況で、利用率の低下を来している。将来的に市内中心部に位置する立体駐車場として存続していくことについては、隣地にある旧萩商業高等学校跡地の問題やアーケード街をはじめ商業施設の動向など今後周辺地の状況を視野に入れ鋭意検討していく。また、施設の安全性を確保するため年次計画により財源の範囲内で補修に努めるとの答弁がありました。



委員会活動

総務委員会



千葉県大網白里町 国保大網病院



群馬県渋川市 地域の文化財を活かしたまちづくり

教育民生委員会



滋賀県愛荘町 愛知川図書館



徳島県上勝町 ゼロウェイスト政策

経済委員会



川越市 川越伝建地区 蔵の町 (観光振興)



川越市 川越菓子屋横丁

写真で見える

建設委員会



千葉県 柳ヶ浦交通バリアフリー



東京都八王子市 長池公園の指定管理者制度

行財政改革調査特別委員会



滋賀県甲賀市（行財政改革に取り組む市）

明治維新館(仮称)・陶芸の村公園整備調査特別委員会



伊万里ファミリーパーク「いまり夢みさき公園」

主要道路整備促進調査特別委員会



萩三隅道路

産廃処分場建設問題調査特別委員会



産廃処分場（熊本県宇城市）

平成19年度3月補正予算の概要

《一般会計》

1、補正予算額

(単位：千円)

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
30,797,160	1,472,788	32,269,948

2、歳出予算の主なもの

(単位：千円)

費目	内 容	補正額
障害者福祉推進費	○通所サービス利用促進事業 県の補助制度により、障害者自立支援法の施行に伴う激変緩和措置の一環として、事業者が行う施設利用者に対する送迎サービスにかかる経費の一部を補助することにより、事業者の負担軽減によるサービス向上につながるるとともに施設利用者の利便性の確保を図る。	8,940
老人福祉総務費	○補助金償還事業 前年度の介護保険事業費等の確定に伴い、受入済みの県補助金を精算し返還。	1,959
道路新設改良費	○道路橋りょう県工事負担金事業 県における合併支援道路等の改良事業の早期完了を図るため対象となる市内各所における路線の改良事業促進により追加負担金を生じたもの。	18,582
文化財保護費	○萩城跡土地買上げ事業 国・県補助金の内示により、平成20年度に予定していた家屋移転補償事業を前倒して行う。	25,255
元 金	○公債元金 国は平成19年度から21年度までの臨時特例措置として、徹底した行政改革・経営改革の実施等を条件に、地方債のうち公的資金（旧資金運用部、旧簡易生命保険資金、公営企業金融公庫資金）の一部（平成4年5月31日までに借り入れた金利5%以上の地方債）について、補償金を免除した繰上償還を認められたもので、将来公債費負担の軽減とともに早期の財政健全化を図るため、このたび7%以上の旧資金運用部資金を繰上償還する。	18,204

《特別会計》

(単位：千円)

内 容	補正予算額	補正後の予算額
○国民健康保険事業（事業勘定） 療養給付費において、今年度下半期を中心に医療費が当初見込みを上回る伸びとなっており、高額療養費については、当初見込みを下回ることが予想されることから、予算調整を行う。	125,932	8,062,160
○介護保険事業（保険事業勘定） 介護保険制度の改正及び介護保険料の激変緩和措置の継続に伴い、介護保険システムを改修。	3,248	5,614,041
○簡易水道事業 補償金免除繰上償還制度を利用して、繰上げ償還するもの。	3,470	371,089
○公共下水道事業 補償金免除繰上償還制度を利用して、繰上げ償還するもの。	1,481,435	3,552,219

可決された議員提出議案

議案第1号【地方財政の充実・強化を求める意見書】

地方分権の理念を実現するため、より住民に身近なところで政策や税金の使途決定、住民の意向に沿った自治体運営を行うことが出来るように、地方税・必要財源の充実・強化及び地方交付税総額の確保を図ることを求めるため、政府に対して意見書を提出する。

議案第2号【地域医療サービス確保を求める意見書】

山口県医療計画及び地域医療費適正化計画の策定に当たり、地域住民が安心して暮らせるように、医療・介護・福祉制度や施設等の基盤の充実を図り、地域医療サービスを確保できるよう積極的な対応を求め、山口県知事に対し意見書を提出する。

議案第3号【産業廃棄物処理施設の設置に伴う制度の改正を求める意見書】

産業廃棄物処理施設の建設には、市町村長の同意を要件にするよう制度改正を強く要望するため、山口県知事に対し意見書を提出する。

議案第4号【萩市議会委員会条例の一部を改正する条例】

萩市議会常任委員会の数を、四委員会から三委員会（総務委員会・教育民生委員会・経済建設委員会）に改め、これに伴う所管の変更を行なうもの。

公平委員会委員の
選任について
河村正男氏

教育委員会委員の
任命について
横山玲子氏

固定資産評価審査
委員会委員の選任
について

太田敦子氏
尾崎孝治氏
神崎昭宏氏
中村和子氏
野稲武一氏
廣田欽哉氏

人権擁護委員の
候補者の推薦に
ついて

村田明美氏
高橋明子氏



田万川地域

萩探訪ツアー—田万川版



川上地域

走ろう大会



萩地域

たこあげ大会



須佐地域

須佐保育園豆まき



むつみ地域

住民福祉講座



旭地域

石の巷山の桜植樹



福栄地域

地元産原木しいたけ給食

日々奮闘されている方もいらつしやると思っています。慌ただしき毎日の中で、気持ちの余裕を失ってしまふことはないでしょうか。そんな時、豊かな心安らぐ自然の中で一息ついてみてはどうでしょうか。萩の美しい自然は「朧月夜」の歌のように張りつめた気持ちを穏やかに包み込んでくれることと思います。

(T・M)

つれづれなるままに



空。叙情的な景色が目に見え、旋律と融合して強く心を打ちます。景色だけを詠い、あとは歌う人、聴く人の印象や想像に任せる手法がこの上なく生かされています。

新入学、新社会人の春、新しい環境に戸惑いながら、あとは歌う人、聴く人の印象や想像に任せる手法がこの上なく生かされています。

「朧月夜」
♪菜の花畑に入り日薄れ見渡す山の端霞ふかし 春風そよ吹く空を見れば 夕月かかりて匂い淡し♪
この謡を作詞した高野達之は、出身地長野県の千曲川畔を彩る菜の花畑を思いながら詠ったそうです。そして、作曲をした岡野定一も、故郷鳥取の菜の花の思い出を曲想に反映したと言われています。夕暮れに染まる淡く霞んだ春の空。

「朧月夜」

編集後記

●表紙の説明
大網声は、船上で魚を取る網を引きながら歌われた勇壮なものであり、越ヶ浜で古来から歌い継がれてきたものです。1組6〜7人以上無伴奏で歌いますが、一番声の独唱と2番声の合唱が交互に重なる勇壮な歌です。現在は作業時に動力を使用するようになって歌うことがなく、わずかに数人の古老が伝承しているに過ぎません。

議会だより編集委員会

- 委員長 木村 靖枝
- 副委員長 平田 啓一
- 委員 江原 任子
- 大村 越夫
- 岡 通夫
- 長岡 肇太郎
- 松尾 義人
- 宮内 欣二
- 守永 忠二
- 横山 秀二